

第47回 朔太郎忌



今回は

猫町 観光案内

NEKOMACHI KANKŌANNAI

です

2019年 **5月11日** 土 開演 14:00
(開場 13:30)

チケット **500円** ※遠方の方は取り置き可

前橋テルサ 2階ホール 前橋市千代田町二丁目5-1

プレイガイド 煥乎堂、前橋テルサ、前橋文学館

『猫町』…萩原朔太郎が書いた小説のタイトル

第二部 リーディングシアター「猫町観光案内」

(萩原朔太郎『猫町』より)

●脚本 栗原飛宇馬 (文学研究者) ●音楽 荒木聡志 (灰ホトラ)

●演出 萩原朔美 (前橋文学館館長)

●出演 町田 康 (作家・詩人・歌手)

柳沢三千代 (青ニプロ)

美斉津恵友 (花組芝居)

手島実優 (女優)

林 健樹 (I&Iファクトリー)

高橋幸良 (やまねこ座)

萩原朔美

第一部 対談「詩と小説と音楽と」

●出演 島田雅彦 (作家・俳優・法政大学教授)
松浦寿輝 (詩人・作家・東京大学名誉教授・萩原朔太郎研究会会長)

主催/朔太郎忌実行委員会 共催: 萩原朔太郎研究会、前橋市、(公財)前橋市まちづくり公社、前橋文学館友の会
後援/朝日新聞社前橋総局、NHK前橋放送局、FM GUNMA、共同通信社前橋支局、群馬テレビ、産経新聞社前橋支局、
J:COM群馬、時事通信社前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、東京新聞前橋支局、表象文化論学会、
毎日新聞前橋支局、前橋観光コンベンション協会、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所、読売新聞前橋支局
協賛/群馬詩人クラブ、群馬ペンクラブ、思潮社

朔太郎忌実行委員会 (萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館内)

お問い合わせ 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL: 027-235-8011 FAX: 027-235-8512

第47回 朔太郎忌

今回は

猫町観光案内



です

NEKOMACHI KANKŌANNAI

詩人・萩原朔太郎が55歳で亡くなったのは、1942(昭和17)年5月11日。朔太郎の生地前橋では、例年命日に近い土曜または日曜日に、日本の詩を大きく変えたこの詩人を偲んで「朔太郎忌」を開催しています。朔太郎は詩人でありながら、小説やエッセイ、数多くのアフォリズムを残し、音楽や美術、写真や映画にも造詣が深い人でした。今回の朔太郎忌は、朔太郎が書いた短篇小説「猫町」を中心に、その多ジャンルぶりに切り込みます。

第一部 対談「詩と小説と音楽と」



まつうらひさき
松浦寿輝

1954年東京都生まれ。詩人、作家。1988年詩集『冬の本』で第18回高見順賞、2009年『吃水都市』で第17回萩原朔太郎賞、2014年『afterward』で第5回鮎川信夫賞。小説では、2000年『花腐し』で第123回芥川賞、2005年『半島』で第56回読売文学賞、2017年『名誉と恍惚』で第53回谷崎潤一郎賞、第27回ドゥマゴ文学賞。評論では、1995年『エッフェル塔試論』で第5回吉田秀和賞。1996年『折口信夫論』で第9回三島由紀夫賞、2000年『知の庭園——一九世紀パリの空間装置』で第50回芸術選奨文部大臣賞、2015年『明治の表象空間』で第56回毎日芸術賞特別賞。2016年12月より萩原朔太郎研究会会長。萩原朔太郎賞選考委員。東京大学名誉教授(フランス文学・表象文化論)。



しまだまさひこ
島田雅彦

1961年東京都生まれ。作家・俳優。1984年東京外国語大学ロシア語学科卒。在学中の1983年「優しいサヨクのための嬉遊曲」でデビュー。1984年『夢遊王国のための音楽』で野間文芸新人賞、1992年『彼岸先生』で泉鏡花文学賞、2006年『退廃姉妹』で伊藤整文学賞、2008年『カオスの娘』で芸術選奨文部科学大臣賞、2016年『虚人の星』で毎日出版文化賞。その他の作品に『自由死刑』『徒然王子』『絶望キャラクター』等多数。2011年より芥川賞選考委員。法政大学国際文化学部教授。

第二部 リーディングシアター「猫町観光案内」(萩原朔太郎『猫町』より)



まちだこう
町田 康



やなぎさわみちよ
柳沢三千代



みさいづけいすけ
美齊津恵友



てしまみゆう
手島実優



はやしけんじゅ
林 健樹



たかはしゆきよし
高橋幸良



はぎわらさくみ
萩原朔美